

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	老人集会所運営			事業番号	011-075
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	無	取組	—		ターゲット	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 [令和3（2021）～令和5（2023）年度]			
3	事業開始年度	昭和 46 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立老人集会所条例、堺市立老人集会所条例施行規則、堺市立市民センター条例、堺市立市民センター条例施行規則			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁…施設維持管理 各区…施設運営委託			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	原則として、60歳以上の堺市民	対象数	約275,000	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための身近な活動拠点となる場を提供することで、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕・補修などの維持管理を実施している。 使用申込書の受付などの施設運営は校区老人クラブ連合会等に運営委託している。 平成12年度以降、新たな老人集会所は整備せず、民設民営の老人集会所への転換を進めている。 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区老人クラブ連合会、校区自治連合会			
10	公民連携・協働事業	なし			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	老人集会所施設数 (年度末現在)	箇所	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	23	23	22	20
			実績値	23	23		
達成率	100%	100%					
当該指標を選定した理由		高齢者の活動が活発に行われる環境整備に繋がり、地域福祉の向上に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		民設民営の老人集会所へ転換し、市立老人集会所は減らしていく方針であるが、各地域の合意形成や資金調達、用地確保等に相当の準備・調整期間を要するため、転換の可能性（見込み）がある場合は、その施設数を除いた数を目標とする。（令和5年度は転換の見込み現状無し）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	1施設あたりの延べ利用者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	758	801	2,182	
			実績値	853	1,707		
達成率	113%	213%					
当該指標を選定した理由		施設を利用する高齢者の福祉の向上が期待できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		コロナ禍において、令和2年度実績715人を基準とし、令和7年度は1.3倍の930人（5年間で215人、年間43人の増）を目標としていたが、令和4年度の実績が1,707人と目標を上回ったため、コロナ禍前の令和元年度実績3,132人まで、令和5～7年度の3年間で回復させることを新たな目標に設定した。 計算式：(R1：3,132人 - R4：1,707人) ÷ 3年間 = 475人/年					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人集会所運営	事業番号	011-075
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	3,906	3,293	2,937	3,298	2,887	
13 財源内訳	国支出金		0	0	0	
	府支出金		0	0	0	
	市債		0	0	0	
	その他 ()		0	0	0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
	一般財源	3,906	3,293	2,937	3,298	2,887
14 人件費 (b)	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	6,366	5,753	5,397	5,758	5,317	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	273
16 事業費内訳	防災設備保守点検委託	R4	決算	273	273	青少年センター内老人集会所光熱水費・施設維持管理負担金(実績払い)	R4	決算	410	410
		R5	予算	273	273		R5	予算	400	400
	施設等修繕料	R4	決算	260	260	研修会等参加負担金	R4	決算	9	9
		R5	予算	200	200		R5	予算	17	17
	青少年センター内老人集会所清掃委託	R4	決算	105	105	消耗品費	R4	決算	81	81
		R5	予算	105	105		R5	予算	85	85
	除草等業務委託	R4	決算	318	318	老人集会所運営委託料(区予算)	R4	決算	1,592	1,592
		R5	予算	30	30		R5	予算	1,512	1,512
	老人集会所施設整備工事	R4	決算	220	220	その他(保険料・通信運搬費等)	R4	決算	30	30
		R5	予算	220	220		R5	予算	45	45

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 老人集会所施設数	施設数	23	23
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,753	5,758
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	250,130	250,348
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動内容を一部制限しているが、国の感染予防対策に基づき、利用制限の内容を随時見直し(緩和)を行うことで、利用者数は回復傾向にある。</p> <p>1施設あたりの施設維持に要した経費は令和3年度と同程度であるが、施設利用者数が回復傾向にあるため、施設活用の観点では、令和3年度よりも費用対効果は改善している。ただし、令和元年度と比較すると、利用者数が約半数であることから、利用者数のさらなる回復が見込まれる。老朽化した老人集会所については、老人集会所への転換に向け、関係課との調整を進め、地元との合意形成を図っていく必要がある。</p>
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>老人集会所は、地域の高齢者が、囲碁・将棋、体操・ダンス、カラオケ、書道、手芸などの老人クラブ活動等を行う「通いの場」として活用されている。活動を行うことで、フレイル予防、介護予防につながり、結果として、KPIの指標「前期高齢者の要支援認定率の減少」に寄与している。</p> <p>利用者数に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により感染拡大防止の観点から、一部の活動内容を制限することとなり、令和元年度と比較して大幅に利用件数が減少している。しかしながら、令和4年度は、令和3年度と比較しても利用者数がほぼ2倍となり、また、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されることに伴い、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を必要最小限に見直し、コロナ禍前の活動を再開できるように検討を行ったため、今後も引き続き回復が見込まれる。</p>
----	--